



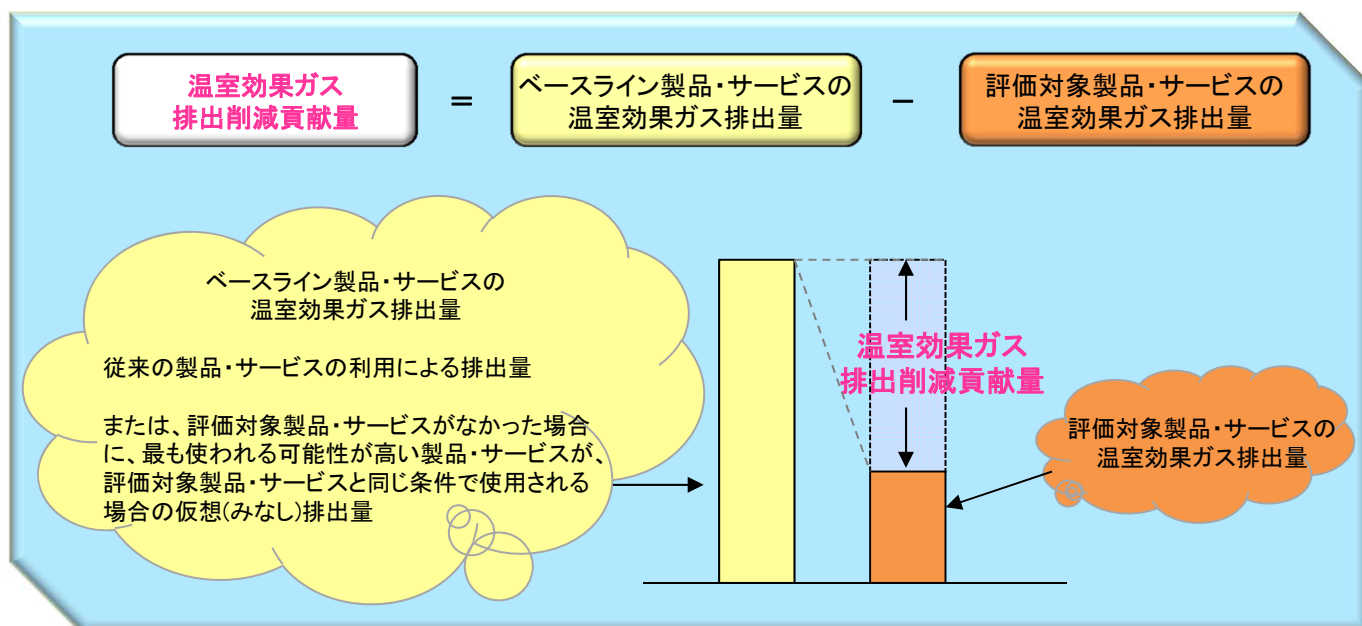
製造業、サービス業のみなさま

# 温室効果ガス排出削減貢献量算定支援

## ①温室効果ガス排出削減貢献量とは

省エネ製品や環境配慮型製品・サービス等が普及・利用されることによる、温室効果ガス排出量の削減の貢献度を定量化する、**温室効果ガス排出削減貢献量**に関する取り組みが注目されています。

産業界(情報通信、化学産業)や自治体(滋賀県、川崎市)がガイドラインを発行して算定手法等を提示している他、業界や製品等に捉われない標準的な算定ルール、算定手法の検討が進められています。



## ②算定・公表メリット

温室効果ガス排出削減貢献量を算定・公表するメリットとしては以下が挙げられます。

### ● 環境性能のPR・見える化

評価対象製品・サービスを採用することによるメリットを、お客さまに対して定量的に説明できます。また、CDP(旧名称:カーボンディスクロージャープロジェクト)等の外部評価アンケートにおいて、自社製品・サービスを活用する第三者に対する温室効果ガス削減貢献効果に関する回答が求められます。

### ● 対象製品・サービスを導入するお客さまのGHG削減見込み量の見える化

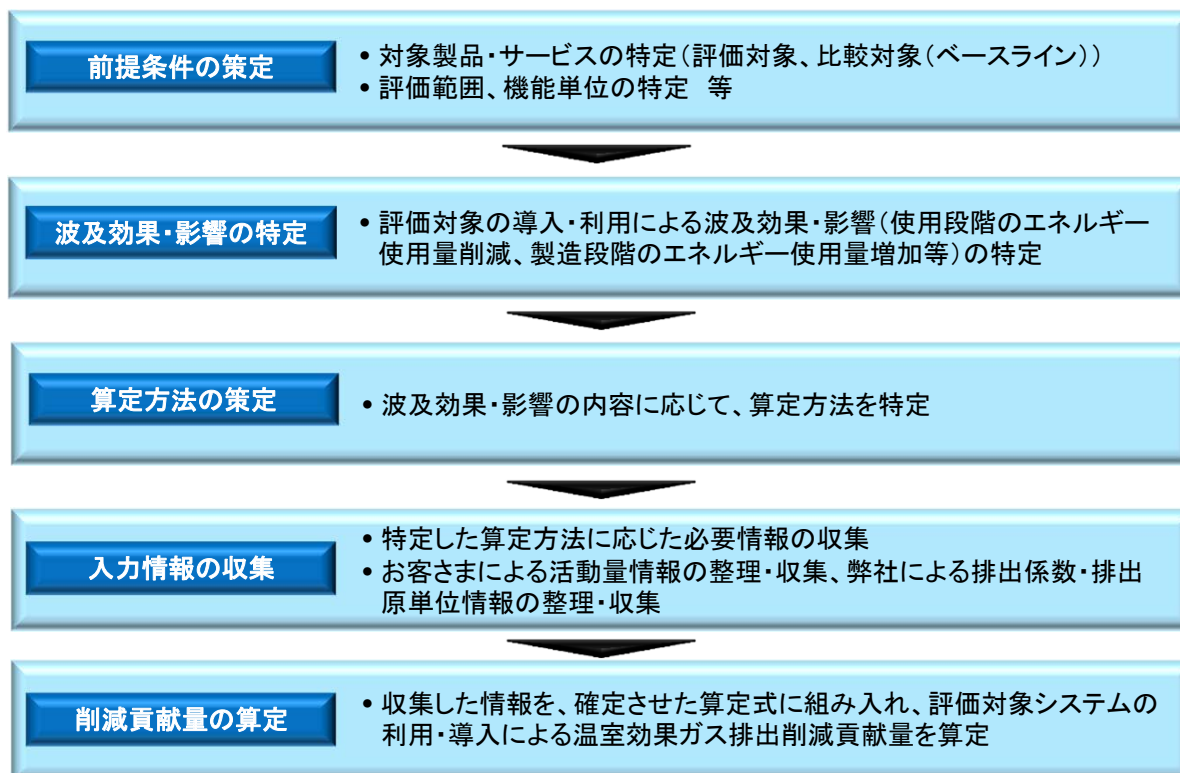
製品・サービスを採用する取引先・購入者等のステークホルダーの温室効果ガス排出量の削減に繋がるため、顧客事業における環境負荷低減に貢献し、他社との差別化になります。

### ● 戦略立案や研究開発への活用

お客さまが温暖化対策計画などを立案する上で、環境負荷低減に貢献する製品・サービスをどれくらい開発・販売すべきかの戦略立案や、環境負荷の更なる低減に向けた製品・サービスの研究開発に役立てることができます。

### ③コンサルティングの流れ

温室効果ガス排出削減貢献量の分析・評価は、各ガイドライン(国際・業界・自治体基準等)を参考に、お客さまとの協議を踏まえながら以下のプロセスで実施します。



コンサルティングスケジュールは以下のとおりです。

なお、算定内容、データ収集の状況等によりスケジュールは変更になる可能性があります。

プロセス	1か月目	2ヶ月目	3ヶ月目
1.前提条件の策定	対象製品・サービス、評価範囲、機能単位等の設定		
2.波及効果・影響の特定	波及効果・影響の協議		
3.算定方法の策定		算定方法の協議	
4.入力情報の収集	活動量、排出係数・原単位の収集		
5.削減貢献量の算定			削減貢献量の算定



SOMPOリスクマネジメント株式会社

コーポレート・リスクコンサルティング部  
〒160-0023  
東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル  
TEL 03-3349-6828 FAX 03-3349-4677  
URL <http://www.sompo-rc.co.jp>